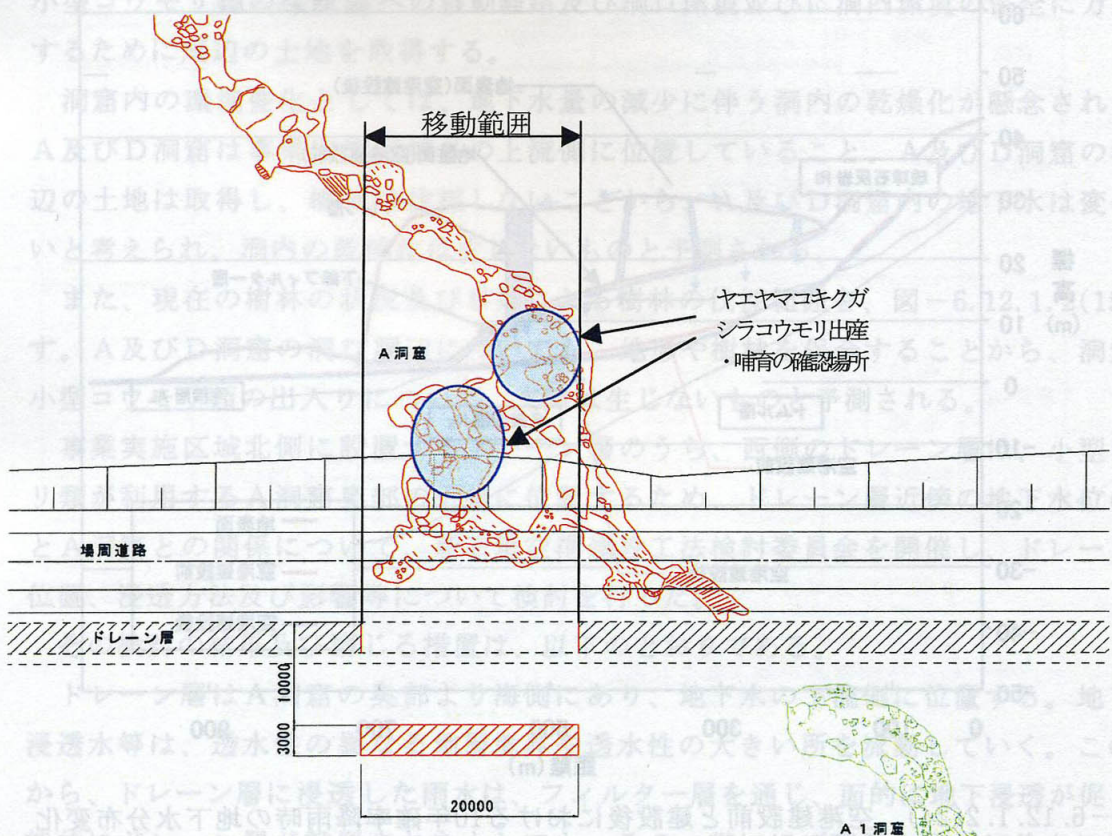


b) ねぐら周辺に於ける自然環境の変化に伴う生息状況の変化

ねぐらとして利用されている洞窟は、A及びD洞窟である。A及びD洞窟については、小型コウモリ類の採餌場への移動経路及び洞窟環境並びに洞内環境の保全に万全を期するために周辺の土地を取得する。

洞窟内の環境は、地下水の減少に伴う洞内の乾燥化が懸念されるが、A及びD洞窟は、現在に位置していることと、A及びD洞窟の洞窟周辺の土地は取得し、洞窟内の環境は変化しないと考えられ、洞内の環境は維持される。

また、現在の樹林の減少に伴い、ヤエヤマコキクガシラコウモリの出産・哺育の確保場所が減少していることから、洞窟への移動経路の確保が図られる。



注. ここに示される計画は概略のものであり、詳細計画の際には変動があり得る。

図-6.12.1.2(26) A洞窟への配慮 (ドレーン位置の変更)

図-6.12.1.2(26) A洞窟への配慮 (ドレーン位置の変更) は、A洞窟の周囲にドレーン層を設置し、地下水位の低下を防止することを目的としている。

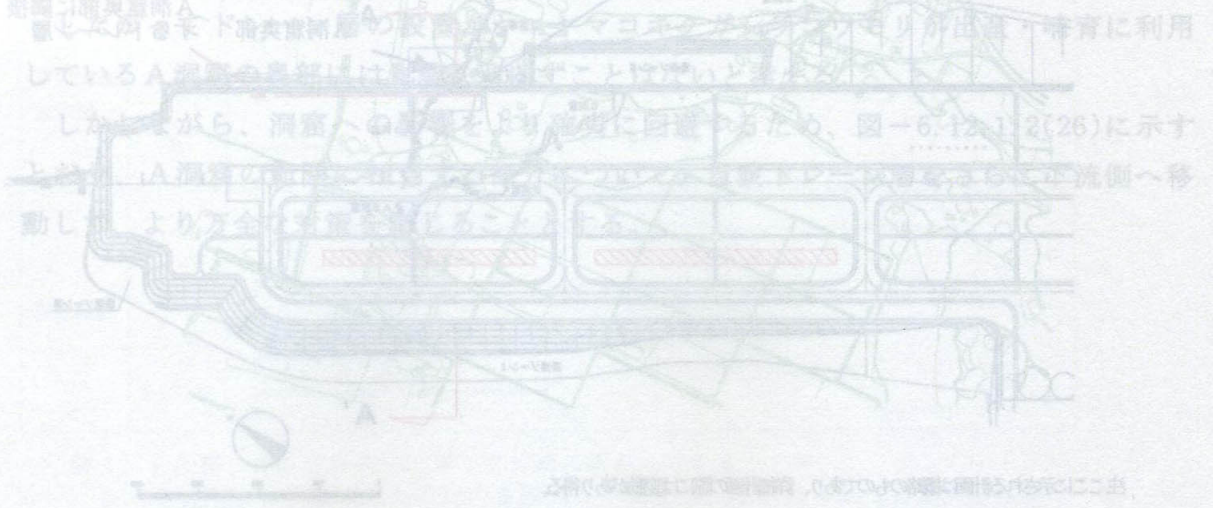


図-6.12.1.2(25) A洞窟への配慮 (ドレーン位置の変更)